

【抗議声明】

内閣総理大臣
安倍 晋三 殿
沖縄県知事
仲井眞 弘多 殿

辺野古新基地建設に抗議し、海底掘削作業の中止を求めます

私たち大阪府歯科保険医協会は、大阪府下の歯科医師3,971人が加入する団体で、歯科保険医の権利と経営を守るとともに、国民だれもがいつでも、どこでも、お金の心配なく医療を享受できることをめざして活動しています。

昨年12月の仲井眞弘多県知事の普天間基地移設先・辺野古埋め立て承認を受け、いま政府は辺野古の埋め立て作業を強行しています。辺野古地区では、沖合に海上保安庁の巡視船が十数隻停泊し、カヌーや漁船で埋め立て反対活動続ける市民を海保職員がゴムボートで取り締まり、資材が搬入されるキャンプシュワブゲート前では座り込み抗議活動をしている市民を排除し、強権的に海底ボーリング掘削作業が進められています。

8月23日、24日に琉球新報社と沖縄テレビ放送が合同で行った沖縄県内世論調査では、移設作業を「中止すべき」という意見が80.2%にのぼっています。

8月22日の那覇市議会に続き、9月3日には沖縄県議会が建設中止を求める意見書を採択しました。

9月8日の名護市議選では、新基地建設反対の議員が14人当選し、市議会の過半数を占めています。名護市を含む沖縄の統一地方選挙で当選者の過半数が新基地建設に反対しています。

9月20日には名護市辺野古の浜で「止めよう新基地建設！9・20県民大行動」が行われ、5,500人が参加しました。

辺野古の新基地建設反対は沖縄県民の総意です。

また、普天間基地に配備されたオスプレイは、日本各地で飛行訓練を展開しており、その被害は沖縄だけでなく全国に及んでいます。辺野古の新基地が完成すれば、飛行訓練の規模はいつそう拡大されます。

私たちは、沖縄県民の総意を無視した辺野古新基地建設強行に抗議するとともに、政府には海底掘削作業の中止、立ち入り禁止水域ブイなどの撤去を、仲井眞知事には政府に工事の中止要請を求めるものです。

2014年10月4日

大阪府歯科保険医協会第18回理事会